

「たまこどもフェス」の実施について（報告）

1. 報告の概要

- 「たまこどもフェス」の開催及び、現時点の事業内容（案）等について報告する。

2. 事業の概要

名称	● 「<u>たまこどもフェス</u>」 ＊ 庁内職員を中心に、こどもをまんやかに据えたイベントなる名称を募集。 ＊ 応募のあった 19 個の名称候補の中から、幼稚園、認可保育所、認証保育所のコアメンバーを含めて投票を行い、名称を決定した。
事業目的	● <u>多摩市の幼稚園や保育園をはじめとした子育て関連団体と連携し、多摩市における質の高い子育て支援施策を市内外の子育て世代の方に PR を行うことで、「子育てするなら多摩」と感じていただくとともに、良好な住環境を UR 都市機構等と連携しながら PR を行うことで、子育て世代の多摩市への移住を促進することを主たる目的とする。</u> ⇒ こどもの声を聴きながらイベントを企画運営することにより、こどもが楽しむだけでなく、達成感を得ることで自己肯定感を高め、多摩市への愛着を深めるきっかけとともに、子育て環境の一翼を担う「児童館」の周知を行う。 ⇒ 「こども誰でもなんでも相談」等を行うことで、多摩市で安心して子育てを楽しみたいと思えるきっかけの提供を行う。 ⇒ 「子ども・若者の権利」について、子どもや若者だけでなく、子どもや若者を支える大人世代の理解を深めるとともに、多摩市の子育て環境の魅力を発信する。
事業で期待される効果、成果	● 市内幼稚園・保育園等が一同に会し実施することで、多摩市の幼児教育・保育で実施している取組や質の高さを子育て世帯に知っていただくとともに、これから定住先等を選択する子育て世帯の方々が多摩市を選んでいただくきっかけの一助とすることができる。 ● 子どもが楽しめるイベントとすることで、この街への愛着が高まるきっかけとなるとともに、市外に対して、多摩市は子どもが楽しく過ごしている子育てにふさわしい街であることを PR できる。 ● 子育てに関する講演会や関係団体との話に触れることで、子育てに関する必要な情報に触れ、育児への不安軽減、育児への関心の向上につながる。 ● 子どもにとって、自分の意見が形になる喜びや役割・内容を自分で考えやり遂げた達成感、本人が実際に行うことで感じられる機会となり、子どもの意見表明・まちづくり参画や健全育成の場となる。 ● 市内の子育て団体との連携、協力を通じて、ともにスクラムを組んで子育て支援に取り組む機運を高めることができる。 ● 大人のみが内容を決めるのではなく、子どもの意見を取り込んだ内容とするイベントを実施することで、多摩市は子どもの自主性を尊重し、その意見を中心（まんやかに考えている子育てしやすい街であるという PR ができる。

実施内容 (案)	1) 多摩市の幼稚園、保育園における説明会の実施及びPRブース等の設置 2) 児童館による参加（各児童館の子どもの意見を元に参加内容を決める） 3) 子ども食堂事業者による出店及びフードドライブブースの設置 4) 子どもの権利に関する講演会の実施 5) 子育て相談ブースの設置 6) 消防団による放水体験等 ※上記は現時点での実施内容（案）であり、今後調整の中で変更となる可能性があります。
開催日	令和6年8月25日（日）
開催場所	永山公民館全館及び永山北公園 ※その他、グリナード永山前ひろば等の使用について、関係機関と調整中
主催者	多摩市子ども青少年部
共催	多摩市幼稚園園長会、多摩市認可保育所園長会、多摩市認証保育所施設長会
協力	近隣の大学や市内子育て関連団体、消防団等からご協力をいただく予定。
広報	・多摩市公式ホームページ掲載 ・多摩市公式X（旧ツイッター）掲載 ・ニュースリリースによる各媒体への告知 ・イベントチラシ作成及び市内各施設、近隣各施設への配布 ・イベント情報サイトへの掲載